

## ギャラリーロトンダ展示 渋沢家のひな祭 開催のご案内

3月3日のひな祭は、日本の女の子にとっては、ほんとうに楽しい日です。

1927年のひな祭は、いつもよりもっと「楽しい」「嬉しい」ことがありました。アメリカの子どもたちから、日本の子どもたちへ、真心が込められた12,000体ものお人形が贈られたのです。このお人形は「友情人形」と呼ばれ、アメリカと日本の未来への平和の懸け橋となって、日本中で歓迎されました。

1924年、アメリカで日本人移民の排斥運動が過熱し、アメリカと日本の関係は悪化しました。こうした事態に、渋沢栄一は親日家のシドニー・ルイス・ギューリックとともに、改善する方法を模索しました。ギューリックは、日本には子どもの豊かな成長を願って雛人形を親から子に贈りお祝いする「ひな祭」があることに着目しました。そして、アメリカから日本へ「友情人形」を贈る提案があり実現をしました。

1927年3月3日に開催された「友情人形」の歓迎会で、渋沢栄一は次のように述べています。

雛祭りの嬉しい事をはじめて知りました。私は今日のこのお催しが、国交の親しみの上に響く事あると思ひますと、また一入喜ばしさを感じるのであります。

（『渋沢栄一伝記資料』第38巻より）

栄一が亡くなった後、その交流は一時途絶えますが、「友情人形」は現在もアメリカと日本の人々が親愛の気持ちを忘れずに、いつまでも仲の良いお友達であるようにとの願いを伝え続けています。

渋沢家の内裏雛と「友情人形」をご覧ください。平和を願った渋沢栄一たちの温かな取り組みを知っていたければ幸いです。

本展示の周知についてご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

※ご来館の前に、メールもしくは電話でご連絡ください。

### 展示概要

名称	ギャラリーロトンダ展示 渋沢家のひな祭		
主催	公益財団法人渋沢栄一記念財団 渋沢史料館		
会期	2023年2月21日（火）～3月5日（日）		
開館時間	10時～16時（最終入館15時30分）		
休館日	月曜日、2月24日（金）※予告なく予定を変更する場合があります。		
会場	渋沢史料館1階 青淵書屋・ギャラリーロトンダ 〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1（飛鳥山公園内）		
入館料	一般 300円、小中高生 100円 飛鳥山3つの博物館共通券 一般 800円、小中高生 320円		
アクセス	JR京浜東北線	王子駅南口下車	徒歩5分
	東京メトロ南北線	西ヶ原駅下車	徒歩7分
	都電荒川線	飛鳥山停留場下車	徒歩4分
	都バス	飛鳥山停留所下車	徒歩5分
	北区コミュニティバス	飛鳥山公園停留所	徒歩3分

## 主な出品作品

●内裏雛 昭和初期 渋沢史料館所蔵

●内裏雛 永徳齋製 昭和初期 渋沢史料館所蔵

●雛道具 昭和初期 渋沢史料館所蔵

●新友情人形「サラ」 渋沢史料館所蔵

2015年、ギューリック3世より平和の使者として寄贈された。

●新友情人形「渋沢あすか」 渋沢史料館所蔵

2015年に渋沢史料館が市松人形の渋沢さくら、渋沢あすかを製作し、さくらをギューリック3世に贈呈した。双子の姉妹は、日米両国で、平和の大切さを伝えている。

## ポスター



A3判。

展示ウェブサイトに掲載。

渋沢史料館ウェブサイト

▷ 企画展示

▷ 2022年度

▷ 渋沢家のひな祭

## お問い合わせ

担当：渋沢史料館 川上（副館長・学芸員）

E-mail：[kikaku2023@shibusawa.or.jp](mailto:kikaku2023@shibusawa.or.jp)

TEL：03-3910-0005